

# 東白杵南部地域の普及活動（普及活動月報）

令和6年11月 東白杵農林振興局  
(東白杵南部農業改良普及センター)

## 目次

- I 管内農業・農村の出来事や新たな動き (P 2)
  - 1 【全域】宮崎方式営農支援体制農業者研修(経営管理研修)を開催
  - 2 【全域】東白杵南部農業改良普及事業協議会と農業経営指導士会南部支部の合同優良事例調査を実施
  
- II 主な普及指導活動等の取組
  - 1 プロジェクト（総合、専門）に関する普及活動 (P 3～4)
    - [総合：担い手確保・育成、雇用労力の確保、中山間地域づくり 等]
    - [専門：茶(中山間)、肉用牛繁殖(若手)、冬春ミニトマト、ほうれんそう(稚葉)、へべす、スイトピー 等]
  
    - 1 【美郷町】新規就農検討会を開催
    - 2 【日向市、門川町】農福連携研修会の開催
    - 3 【美郷町】加工グループのレシピ継承に向けた作業工程の聞き取りを実施
    - 4 【諸塚村】ウーロン茶製造茶園の巡回を実施
    - 5 【日向市】冬春ミニトマト病害対策のための現地確認を実施
    - 6 【日向市】へべす園地のスマート草刈り実証(2回目)を実施
  
  - 2 プロジェクト（総合、専門）以外の普及活動(一般活動) (P 5～8)
    - 1 【諸塚村】6次産業化経営改善地域相談会の実施
    - 2 【全域】女性農林漁業者ネットワーク交流会及び視察研修の開催
    - 3 【美郷町】飼料作展示ほ場の発芽調査を実施
    - 4 【全域】11月期子牛セリ市が開催
    - 5 【全域】肉用牛増頭に向けた飼養管理のポイントについて講演を実施
    - 6 【日向市】きゅうりの環境データを比較検討するワーキンググループ開催
    - 7 【美郷町】シキミ部会3支部研修会にて栽培講習を実施
    - 8 【美郷町】冬春ミニトマトの農薬使用における注意喚起を実施
    - 9 【日向市、門川町、美郷町】スナップえんどう全戸巡回指導を実施
    - 10 【日向市、門川町】マンゴー部会でヒートポンプ機種選択に関する情報提供
    - 11 【稚葉村】ランキュラス現地検討会を開催
    - 12 【稚葉村】鳥獣被害防止対策に係る研修会を開催
    - 13 【稚葉村】ランキュラスで農薬の現地効果を確認する実証展示ほを設置



東白杵南部農業改良普及センター  
ホームページ

# I 管内農業・農村の出来事や新たな動き

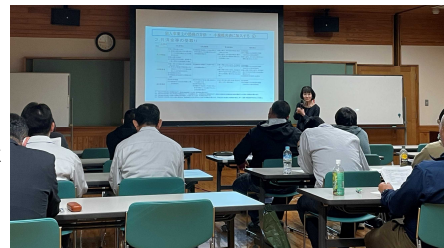
## 1 【全域】宮崎方式営農支援体制農業者研修(経営管理研修)を開催

25日、普及センターで「宮崎方式営農支援体制農業者研修(経営管理研修)～上手に節税！賢い農業経営を目指そう！～」を開催し、生産者6人、関係者13人の参加がありました。

税理士法人アイビーパートナーズの飯田三和税理士を講師として招聘し、個人事業主が納める主な税金や節税のポイント等についてご説明いただきました。

特に、「確定申告書の作成を税理士等に依頼していたとしても、自分で所得控除等に関心を持ち、人任せにしないこと」の重要性を強調されました。

参加した生産者からは「理解が深まった。今日初めて知った内容もあるので、今後の経営に取り入れたい」等の感想がありました。



【税理士による経営管理研修】

## 2 【全域】東臼杵南部農業改良普及事業協議会と農業経営指導士会南部支部の合同優良事例調査を実施

27日、東臼杵南部地区の普及事業協議会と農業経営指導士の関係者及び生産者13名が参加し、宮崎市の合同会社タコジマファームと、新富町の株式会社タラッサ農園の事例調査を実施しました。

両法人における人材確保・育成等に関する先進的な取組について説明を受け、参加者からは、活発に質疑応答や意見交換等が行われました。調査した内容は、今後の管内の農政、生産者支援に役立てていきます。



【研修先で説明を受ける参加者】

## II 主な普及指導活動等の取組

### 1 プロジェクト（総合、専門）に関する普及活動

[総合：担い手確保・育成、雇用労力の確保、中山間地域づくり 等]

[専門：茶(中山間)、肉用牛繁殖(若手)、冬春ミトマ、ほうれんそう(椎葉)、へべす、スイトピー 等]

#### 1 【美郷町】新規就農検討会が開催

18日、美郷町役場で、新規就農検討会を開催し、就農希望者・関係者合計9名が出席しました。

就農希望者は、肉用牛繁殖での親元就農を希望しており、検討会では、動態表・収支計画を共有し、今後の就農スケジュールや就農までに準備しておくこと等について協議しました。

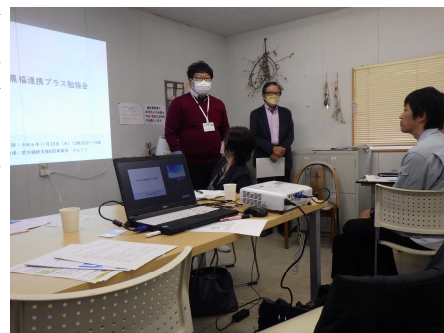
今後は、関係者と協力し、就農に向けた情報の整理を行い、就農後も経営の安定・発展に向けて継続的に支援していきます。

#### 2 【日向市、門川町】農福連携研修会の開催

28日、日向市内のB型福祉事業所で、日向市、門川町の7福祉事業所、日向市議会議員、日向市、県障がい福祉課、県担い手農地対策課、農業振興公社農福連携支援センター、普及センターの関係者19名が出席し、研修会が開催されました。

研修会では、「日南の農福連携（にちなんスイッチ）について」と題して、にちなん障がい者共同受注ネットワークスイッチ事務局の徳弘氏から日南市での取組について講演があり、その後、門川町のミニトマト施設で現地視察が行われました。

今後は、共同受注窓口化に向けたモデル化事業が円滑に進められ、管内の共同受注窓口設置に向け、関係者と連携して支援していきます。



【農福連携研修会】

#### 3 【美郷町】加工グループのレシピ継承に向けた作業工程の聞き取りを実施

26日、美郷町南郷の食品加工場で、加工グループ3名と普及センター2名が出席し、レシピ継承に向けた作業工程の聞き取りを実施しました。

加工に必要な道具や材料、工程の聞き取りと実際の作業工程の写真撮影を通じて、レシピ化に必要な情報の記録を行いました。

今後は、加工技術を次世代に引き継いでいくために、加工グループと協力しながら、記録した内容を基にレシピ整備を進めていきます。



【加工作業】

## 4 【諸塚村】ウーロン茶製造茶園の巡回を実施

26日、諸塚村でウーロン茶を製造している1軒の生産者から今年度の茶園の管理状況の聞き取りと現状の確認を行いました。

ほとんどの茶園で樹勢が良く、葉層もしっかりと充実していました。また、巡回の中で今年度のウーロン茶生産の課題の共有を行いました。

今後は、ウーロン茶生産の課題を整理し、来年度のウーロン茶用生葉の収量及び品質の向上に向けた支援を行っていきます。



【茶園の紹介をする生産者】

## 5 【日向市】冬春ミニトマト病害対策のための現地確認を実施

13日、生産者3名と関係者2名、野菜専門技術員（専技）で、日向市内の冬春ミニトマトのほ場において、病害対策のための現地確認を実施しました。

今年の冬春ミニトマトは、定植時期から平年より高温が続く、例年より細菌病による被害が多くなりました。今回は、専技から、第1次感染源の可能性や2次感染を防ぐための対応、次作で再発生させないための工夫について助言がありました。

年々、異常気象等により高温の期間が長くなることで、これまであまり問題とならなかった病害への対応も必要になってきています。



【ほ場を観察する生産者と専技】

## 6 【日向市】へべす園地のスマート草刈り実証（2回目）を実施

19日、日向市の大規模へべす園地で、関係者16名が参加し、スマート農業技術活用機械の試験的導入2回目の現地実証を行いました。前回、台形のうねで雑草の刈り残しがありましたが、今回はうねの形状変更を行い、うね面積の約8割を大型モアで草刈りできることを確認しました。株元は、電動リモコンモアでの草刈りを試験導入しましたが、地面の凹凸やリモコン操作の習熟度が作業の質に影響することが確認されました。

今後、園地規模に合わせた、スマート農業機械の選定の目安について検討します。



【うね形状変更で刈り残しが減少】

## 2 プロジェクト（総合、専門）以外の普及活動（一般活動）

### 1 【諸塚村】6次産業化経営改善地域相談会の実施

6日、普及センターで施設野菜生産者（諸塚村 ミニトマト）の6次産業化経営改善地域相談会が実施されました。

宮崎県産業振興機構の専門員と商品開発コーディネーターが、6次産業化に取り組む際の注意点や、加工に関するノウハウについて説明を行いました。

相談者には、説明を受けた内容を参考に、今後の方向性を考えていただくことをお願いしました。今後も普及センターでは、情報提供等の支援を継続していきます。

### 2 【全域】女性農林漁業者ネットワーク交流会及び視察研修の開催

11日、延岡市で、女性農林漁業者ネットワーク交流会及び視察研修が開催され、日向・東臼杵農山村女性会議構成員6名、関係者6名が参加し、SDGsの講演や農林漁業各部門で活躍している女性のパネルディスカッションが行われました。

また、初の試みであるグループワークでは、各自の取り組みや経営について話し合われ、盛り上がりを見せていました。

交流会後には、延岡市北方町で果樹農園をしながら、自社の果物を活用したドライフルーツやジャムの加工、カフェ経営に取り組んでいる施設を視察しました。

果樹農園の経営の多角化に精力的に取り組まれている内容に、出席者も興味を持たれ、活発な質疑応答が行われました。



【女性農林漁業者ネットワーク交流会】

### 3 【美郷町】飼料作展示ほ場の発芽調査を実施

19日、美郷町西郷に設置しているイタリアンライグラスの奨励品種選定試験展示ほ場の発芽調査を実施しました。

この展示ほ場では、イタリアンライグラスの3品種を6日に播種しており、発芽調査の結果、どの品種においても発芽状況は良好で差は見られませんでした。

今後も、生育状況の確認を定期的に変更して実施していきます。



【飼料作展示ほ場】

## 4 【全域】11月期子牛セリ市が開催

20～21日、東臼杵市場で11月期子牛セリ市が開催され、雌257頭、去勢304頭、合計561頭が取引されました。

平均価格は雌487,227円、去勢539,182円、合計516,165円で取引され、前回セリと比べて雌で58,271円増、去勢で3,635円減、合計で29,727円増となりました。

また、今回のセリ市研修会では、北部普及センターから生産者に対し冬の寒冷対策のポイントについて説明があり、対策の重要性を改めて理解した様子でした。今年も冬の寒さが厳しくなってくるので、巡回の際には生産者に寒冷対策の重要性を呼びかけ、牛が病気にならないように、引き続き支援を行っていきます。



【セリ場で牛を見る購買者たち】

## 5 【全域】肉用牛増頭に向けた飼養管理のポイントについて講演を実施

29日、東臼杵市場で第26回肉用牛改良増頭研修会が開催され、生産者や技術員約130名が参加しました。

研修会の講演では、「生産性向上に繋げるためのいくつかのヒント」をテーマに、普及センターから母牛・子牛の基本的な飼養管理のポイントを説明しました。講演後は生産者から活発な質問があり、大変有意義な研修となった様子でした。その他、JA宮崎経済連より「最近の畜産情勢」についての講演、肉用牛功労者や令和5年度子牛最高価格販売者の表彰がありました。

今後も地域の増頭に向けて、適切な飼養管理について引き続き支援していきます。



【研修会で講演する普及職員】

## 6 【日向市】きゅうりの環境データを比較検討するワーキンググループ開催

18日、JA美々津支店においてきゅうり地域WGを開催しました。

会では、生産者4名、関係者3名が出席し、管内と都城地区の生産者のハウス内環境データを提供し、比較検討しました。また、データを基に施肥や温度管理等の工夫について生産者同士で意見を交わしました。なお、経済連からは12月の栽培管理についての講義もあり、生産者は質問をしながら、理解を深めていました。

12月には、きゅうりの収量は大幅に増加します。環境の変化に対応しながら、収量の確保できる管理を目指して、生産者、関係者で取り組んでいきます。



【12月の管理について考える生産者】

## 7 【美郷町】シキミ部会3支部研修会にて栽培講習を実施

25日、26日、美郷町内で生産者30名、関係者3名が参加し、美郷町シキミ部会3支部研修会が開催されました。普及センターからは栽培技術や気象の振り返り、事故品対策、病害虫対策、ドローン試験結果、農業用機械の適正使用、農薬の取扱いに関する注意事項の指導及び情報共有を行いました。

来月からの年末出荷では出荷計画が達成されるよう関係者と協力して支援していきます。



【支部長の束作り作業場を見学する支部会員】

## 8 【美郷町】冬春ミニトマトの農薬使用における注意喚起を実施

27日、JA西郷支店において生産者9名、関係者5名が参加し、美郷町冬春ミニトマト部会定例会が開催されました。

定例会では各生産者のハウス内状況や栽培の現状を部会員と共有し生産者同士での意見交換をおこなったり、販売実績、出荷色目の共有が行われました。

普及センターからは残留農薬についての注意喚起を行いました。

## 9 【日向市、門川町、美郷町】スナップえんどう全戸巡回指導を実施

1日、収穫前のほ場確認も兼ねて全戸巡回による栽培指導をJA担当者と行いました。本年作の生産者は17戸となっており、10月に播種したほ場については、天候不順の影響で生育が遅れています。ハスモンヨトウの発生が多く防除指導を行いました。

今後も、現地検討会において収量向上できるように支援していきます。

## 10 【日向市、門川町】マンゴー部会でヒートポンプ機種選択に関する情報提供

12日、JA経営支援センターにて、生産者3名、関係者5名が参加し、JAマンゴー部会の事業説明会が実施されました。

はじめに各生産者から事業要望の概要を話していただいた後、振興局から産地生産基盤パワーアップ事業の説明が行われました。普及センターからはヒートポンプの機種選択に関する情報提供を行いました。それぞれの生産者が持つ要望を満たした事業計画にするため、今後は事業予算の概算額の算出や事業要件を整理し、引き続き協議を進めていきます。

## 11 【椎葉村】ランンキュラス現地検討会を開催

5日に、ランンキュラスの現地検討会を開催しました。椎葉村・美郷町・諸塚村の生産者7名と関係者8名が参加し、長距離を移動しながら椎葉村内3箇所を巡回しました。

会は、駐在所の進行のもと、普及センターによる県内の生育情報提供、園主によるほ場管理説明、県総合農業試験場花き部長からのアドバイスという役割分担をして取り組み、それぞれのほ場で活発な意見交換が行われました。

特に、夫婦で参加された2戸の若手生産者は、他の優良園地やベテランの栽培者から学ぶ良い機会となったようです。

曇天続きで管理に苦労されている中、花き部長からのアドバイスを皆で共有することができたため、今後の管理作業に活かせる有意義な検討会となりました。



【ランンキュラス現地検討会】

## 12 【椎葉村】鳥獣被害防止対策に係る研修会が開催

20日、ワイヤーメッシュ柵設置を前に、鳥獣被害防止対策に係る研修会が総合拠点施設「かてりえ」で開催され、梅尾地区と鹿野遊地区の住民13名が参加されました。

駐在所からは、鳥獣被害状況や正しい対策の取組順序などを説明し、鳥獣被害対策センターからはより専門的な視点からの情報提供が行われました。

役場からはワイヤーメッシュ柵を設置する上での手続きについても説明があり、参加住民は、研修会を通じて被害を減らすための設置のポイント、地域全体で対策に取り組むことの重要性などの理解を深めていました。

また、室内研修の後には実地研修も行われました。

今回のワイヤーメッシュ柵導入を機に、地域全体で守る気運が高まり、被害が軽減していくことが期待されます。



【鳥獣被害対策のポイントを説明】

## 13 【椎葉村】ランキュラスで農薬の現地効果を確認する実証展示ほを設置

18日と26日に、ランキュラスの新規登録農薬実証展示ほの設置と調査を行いました。この展示ほは、椎葉村での効果確認と、県内で比較的低温下にある環境での農薬の効果についてデータを収集することが目的です。今回はハモグリバエ類を対象とした薬剤試験で、散布前の状況確認と、散布4日後の調査を行い、一定の効果を確認しました。残る1回の散布後調査を実施し、結果を整理する予定です。



【ハモグリバエへの効果を確認】